



実践女子大学所蔵 源氏物語・和歌コレクション展

ふみくら — 文庫をひらく —

2024年9月9日～9月29日

10：30～17：00

* 土曜日・日曜日・祝日は休館
ただし28土・29日は開館

会場：実践女子大学香雪記念資料館
(実践女子大学渋谷キャンパス内)

主催：実践女子大学 文学部 国文学科

共催：実践女子大学図書館

実践女子大学文芸資料研究所

協力：実践女子大学香雪記念資料館

出品目録

(修正版)

- 本目録の番号は展示のキャプション番号と同じです。
- 資料名は国書データベースの統一書名に準じています。
仮資料名は □ で示しています。
- 所蔵先の略称は以下の通りです。
山岸：山岸文庫、常磐松：常磐松文庫、文芸：文芸資料研究所
- 末尾の記号 (○) は本学初公開資料を示しています。

- 会場内での写真撮影は禁止します。
- 鉛筆以外の筆記用具のご使用はご遠慮ください。
- 資料のコンディションにより、展示に変更が生じる場合があります。

第一章 『源氏物語』の写本たち — 多彩な筆跡、多様な本文 —

	資料名	書写者・伝称筆者	装丁・法量	点数	書写年代(推定含む)	所蔵先
1	源氏物語切 桐壺巻	伝 冷泉為相筆	六半切	軸装(一幅)	鎌倉時代末期～南北朝	国文学科 ○
2	源氏物語 末摘花巻	伝 二条為定筆	列帖装・枳形本	一帖	鎌倉時代末期～南北朝	常磐松
3	源氏物語 須磨巻	伝 冷泉為相筆	列帖装・枳形本	一帖	鎌倉時代末期～南北朝	常磐松 ○
4	源氏物語 早蕨巻・宿木巻	伝 冷泉為相筆	列帖装・四半本	一帖	鎌倉時代末期～南北朝	山岸
5	源氏物語切 宿木巻(塙正切)	伝 西行筆	六半切(二葉)	軸装(一幅)	鎌倉時代末期～南北朝	文芸
6	源氏物語 (明融本)	明融ほか寄合書	列帖装・四半本	四十四帖	室町時代末期	山岸
7	源氏物語 (耕雲本)	甘露寺親長 (及び補写)	列帖装・四半本	五十四帖	文明年間	山岸

第二章 『源氏物語』を注釈した書物たち

8	源氏物語系図	伝 三条西実枝筆	折本・枳形本	一帖	天文十三年(1544)	常磐松
9	〔源氏小鏡〕		列帖装・四半本	一帖	室町時代後期	文芸
10	覚勝院抄	*三条西家旧蔵	袋綴・四半本	二十五冊	江戸時代中期	文芸
11	〔九条家本源氏物語聞書〕	*九条家旧蔵	袋綴・四半本	五冊	江戸時代前期	常磐松

第三章 『源氏物語』の和歌

12	源氏物語カルタ			五十四組	江戸時代	文芸
13	源氏物語和歌集切	伝 二条為氏筆 (伝九条良経筆)	横小本切	一葉	鎌倉時代初期	文芸

第四章 紫式部の和歌

14	紫式部集	猪苗代長珊カ	列帖装・四半本	一帖	(1556年)	常磐松
	(参考) 百人一首		列帖装・四半本	一帖	江戸時代後期	個人蔵

第五章 和歌の規範 ― 勅撰和歌集 ―

資料名		書写者・伝称筆者	装丁・法量	点数	書写年代（推定含む）	所蔵先
15	古今和歌集	伝 一条冬良筆	列帖装・四半本	二帖	室町時代後期	文芸
16	八代集	＊H.S.チェンバレン旧蔵	列帖装・中本	八帖	江戸時代中期	山岸 ○
17	後撰和歌集切	伝 寂蓮筆	四半切	軸装（一幅）	鎌倉時代初期	文芸 ○
18	後撰和歌集切	伝 藤原清輔筆	四半切	一葉	鎌倉時代初期	個人蔵 ○
19	後撰和歌集切 紹巴切	藤原定家	四半切	軸装（一幅）	鎌倉時代初期	文芸

第六章 勅撰和歌集をうつす元陰陽師、寂恵

20	拾遺和歌集（上帖）	●重要文化財	寂恵（及び右筆）	列帖装・四半本	一帖	鎌倉時代中～後期	山岸
21	拾遺和歌集切		伝 寂恵筆	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	文芸 ○
22	古今和歌集切 石見切		寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	文芸 ○
23	古今和歌集切 石見切		寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	文芸 ○
24	古今和歌集切 石見切		寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	文芸 ○
25	古今和歌集切 石見切		寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	個人蔵 ○
26	古今和歌集切 石見切		寂恵	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	個人蔵 ○
27	後撰和歌集切		伝 寂恵筆	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	個人蔵 ○
28	金葉和歌集切		伝 寂恵筆	四半切	一葉	鎌倉時代中～後期	個人蔵 ○

第七章 さまざまな和歌集 ― 私家集、百人一首、歌合 ―

29	斎宮女御集切		伝 藤原公任筆	四半切	軸装（一幅）	平安時代後期㍿	文芸
30	顯輔集（左京大夫集）		伝 空性法親王筆	列帖装・四半本	一帖	江戸時代初期	山岸
31	再昌	＊三条西家旧蔵	伝 霊元天皇筆	袋綴・四半本	一冊	江戸時代中期	山岸 ○
32	百人一首・三十六人歌合		冷泉為清	列帖装・四半本	一帖	寛文二年（1662）	常磐松 ○
33	清輔家歌合 永暦元年七月			袋綴・四半本	一冊	江戸時代前期	山岸 ○
34	月卿雲客妬歌合	＊阿波国文庫旧蔵		袋綴・四半本	一冊	江戸時代前期	山岸 ○
35	〔歌合集〕	＊九条家旧蔵		袋綴・四半本	十三冊	江戸時代初期	山岸 ○

第八章 和歌を注釈した書物たち

36	万葉集長歌短歌説			袋綴・四半本	一冊	寛文四年（1664）	山岸 ○
37	万葉抄（宗祇抄）			袋綴・四半本	一冊	江戸時代中期	山岸 ○
38	顯注蜜勘（卷十一～二十）	＊九条家旧蔵		袋綴・四半本	二冊	寛永六年（1629）	山岸 ○
39	〔古今和歌集聞書〕	＊九条家旧蔵		袋綴・四半本	五冊	寛文四年（1664）	山岸
40	〔古今和歌集注〕		伝 素眼筆	卷子装（改装）	二軸	室町時代前期	山岸 ○

第九章 筆跡や料紙を愛でる、集める ― 古筆手鑑 ―

41	古筆手鑑		折帖	一帖	鎌倉～江戸時代	文芸 ○
----	------	--	----	----	---------	------